

## 2024年は「選挙イヤー」

## 各国の選管職員が私立麴町学園女子中高の主権者教育から学ぶ！

各国の研修員が6月29日(土)の選挙模擬投票を見学

2024年は史上最大の「選挙イヤー」とも言われているほど、世界各国で選挙が行われています。国際協力機構(JICA)は、政府開発援助(ODA)として、民主主義の根幹となる選挙を自由で公平なものにするため、「民主国家における選挙の適正な実施」についての本邦研修を6月27日(木)から7月12日(金)まで実施します。参加する研修員<sup>1</sup>(17名)は、中央選挙管理委員会の実務担当者をはじめとする、選挙を実施するうえでのキーパーソンとなる職員です。本研修では、有権者登録、投開票事務、主権者教育等の選挙管理実務に焦点をあてつつ、その前提となる民主主義の構成要素、選挙制度、選挙行政、更には選管とメディアの関係性などについても学び、信頼に足る選挙管理とは何かについて知見を共創します。

研修の一環として、6月29日(土)に私立麴町学園女子中学校高等学校において模擬投票を見学し、選挙が比較的身近でない若い世代に選挙の重要性を伝える手法を学びます。今回の見学は、実際の主権者教育の現場を自分の目で確かめることでその学びを深め、自国での教育に生かすことができるよう、私立麴町学園女子中学校高等学校様の協力を得て企画・実施します。

今後行われる各国の選挙に向けて、日本の主権者教育をお手本に学ぶ機会について、取材をぜひご検討ください。

## 【取材概要】

(1) 日時： 2024年6月29日(土) 13:00~14:00

時間	概要
<u>13:00~14:00</u>	私立麴町学園女子中学校高等学校 (模擬投票の様子を会場後方から見学、先生・生徒との交流)

## (2) 留意事項：

- ・対応可と確認できた研修員(当日JICAよりお伝えします)への撮影・取材が可能です。通訳(日・英)はJICAが対応します。
- ・見学中の生徒の顔を撮影することはお控えください。



(イメージ：昨年度の研修の様子)

<sup>1</sup> 参加する研修員の国籍：カンボジア、ガボン、ギニア、マラウイ、モルディブ、マーシャル、ネパール、ナイジェリア、パレスチナ、パプアニューギニア、フィリピン、セントビンセント、南スーダン 参加研修員は急遽変更となる可能性があります。

## 【本件に関する取材申込み・問い合わせ先】

ご取材いただける場合、6月28日(金) 正午までに、以下にご連絡ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 河内英慧

TEL 080-7137-2354 e-mail:[Kawachi.Hanae@jica.go.jp](mailto:Kawachi.Hanae@jica.go.jp)